みつけたみよしの
はつらつさん

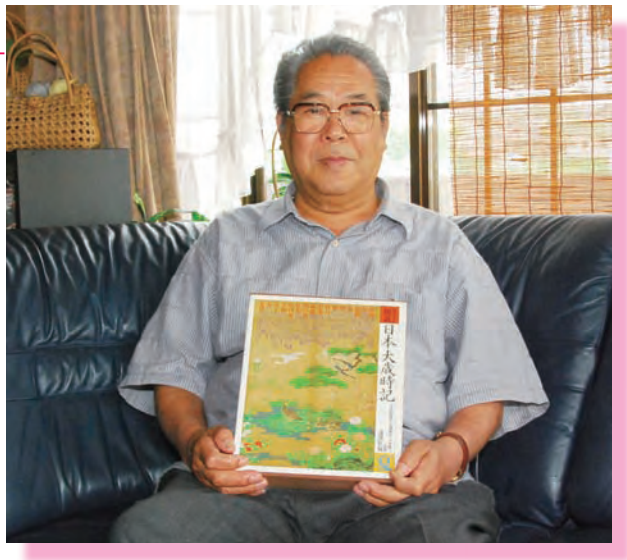
三好の文化の発展に貢献したい

久野（くの） 安鈔（やすよし）さん（新屋）

昭和40年から長年俳句を続けている久野さん。今までに作った俳句を書き記したノートは12冊にもなります。「考えたことを俳句に残すのは、自分の人生に足跡を残すことのように思います。このノートは自分自身の宝です」とにっこり。趣味の俳句を通じて、多くの仲間と出会い、今は新屋老人クラブで俳句の活動を行っています。「少しでも多くの人に参加してもらい、自分の生活を俳句に残してくれたらうれしいです」と話します。

平成17年から三好町文化協会の会長を務めており、9月28日にサンアートで開催される愛知県文化協会連合会の西三河部芸能大会の準備で現在多忙な日々を送る久野さん。「三好の文化の発展に生涯貢献していきたいですね」とますます活動に意欲的です。

これからも文化振興のために頑張ってください。



▶▶▶プロフィル

くの・やすよし　昭和７年生まれ。俳句を長年続け、新屋老人クラブ俳句会「句集池の原（くしゅういけはら）」などで活動中。作品作りの際には「日本大歳時記」を参考にしている。また、短歌や狂俳にも造詣（ぞうけい）が深く、精力的に作品作りに取り組む。毎朝三好の田園風景を眺めながらウオーキングすることが健康の秘けつ。

やんばれ！
みよしっ子

三好中学校 剣道部

今回は三好中学校の剣道部を紹介します。顧問の中林優（なかばやしまさる）先生と坪井善哉（つぼいよしや）先生、主将の石田大和（いしだやまと）君に話を伺いました。

静寂な武道場に響き渡る竹刀の音と部員たちの掛け声。うだるような蒸し暑さにも負けず、17人の剣道部員たちは今日も練習に励みます。部員をまとめあげ、アドバイスをしながら剣道部を引っ張る主将の石田君。「みんなでアドバイスをし合うことで、お互いを高めているところがこの部の特徴です。まだ剣道の経験が浅い部員が、経験者や先輩たちに教わって上達していく姿を見るとうれしいです」と笑顔。

中林先生と坪井先生は「部員たちは自主性を持って練習に取り組んでいます。勝つためにどうすればよいのかを自ら考えることができるようになったので、この良い状態で秋の新人戦を迎えてもらいたいです」と部員たちを温かく見守ります。

石田君は「一生懸命練習に取り組み、秋の新人戦の県大会優勝を目指します」と力強く今後の抱負を語ります。

Happy Birthday

おめでとう お誕生日8月

野々山 翔哉くん（三好下）平成17年8月16日生

父・克利さん　母・潮美さん

『平仮名の読み書きができるよ』

平仮名を読んだり、書いたりすることができるしょうやくん。平仮名で書いてあるカード遊びやアンパンマンのDVDで文字を覚えたんだって。食器洗いや掃除のお手伝いができるしょうやくんに「人の気持ちが分かる優しい子に育ってね」とお母さん。

加藤 鉄平くん（三好丘桜）平成17年8月2日生
桔平くん（写真左）平成18年8月19日生

父・光宣さん　母・千絵さん

『いつも二人で仲良く遊ぶよ』

みんなに優しく、いつもにこにこしているてっちゃん。愛嬌があって人懐っこいきっちゃん。二人はプールが大のお気に入りなんだって。車のおもちゃでいつも仲良く遊ぶ二人に「健康で思いやりのある子になってね」とお母さん。

西村 涼那ちゃん（新屋）平成17年8月29日生

父・智樹さん　母・愛子さん

『かわいい店員さん』

お店屋さんごっこにはまっているすーちゃん。レジのおもちゃを使って、店員さんの役をすることが大好きなんだって。活発で運動が得意なすーちゃんに「いろいろなことに興味を持ってチャレンジできる子になってね」とお母さん。

HIMAWARI お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

▲出場者募集

【10月のお誕生日コーナー】

▶応募期間＝９月１日から３日まで　▶対象＝10月生まれで３歳未満の児
▶応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357
※８月生まれの応募は、11人でした。（抽選により掲載決定）

みよしの文芸 Miyoshi no Bungei

俳句

こだわりをさらりと風に麦の秋　太田芙美子
目高見る少年の目の優しかり　山田　年子
明日がある思いあらため麦の秋　渡辺　信子
野遊びや芽吹く山野に我も在り　堀越　弘蔵

短歌

孫の吹く口笛たおやかに瞳は澄んで　高信　ハルエ
金子みすずの「月っくり火っくり」　西山　邦子
新学期小２中１高２の孫三人　そろってみんな３組　安倍　嘉奈子
病みおりて心の窓を閉じいたり　風通しよくする思い切り

狂俳

向日葵　太陽追って首廻す　即席よ　原田　里秋
胡瓜の酢揉み食べて見て　自家菜園　林　星童
土の匂いが膳にある　林　美希

北海道のような広い視野を

小学生士別（しべつ）市派遣団結団式

7月24日、小学生士別市派遣団の結団式が役場で行われました。北海道の大自然や文化に触れることで、子どもたちに視野を広げてもらおうと毎年実施しているこの行事。結団式では32人の児童一人一人が「羊について調べたい」「いいじゃん踊りを士別の人と踊りたい」などそれぞれの研究テーマや抱負を発表しました。団員のほとんどが初めて行く北海道。友好都市の士別市での、さまざまな体験に胸をときめかせていました。

強力支援で目指せ花園

愛知スーパーハイスクール指定激励会・委嘱（いしょく）式

三好高校のラグビー部が「愛知スーパーハイスクール研究指定推進事業」の部活部門に指定されたことを受け、ラグビー部の激励会とコーチ・トレーナーの委嘱式が7月18日、三好高校で行われました。この新しい試みで3年間にわたって、元ラグビー日本代表の朽木英次（くつきえいじ）さんなどをコーチとして迎え、備品整備の面でも支援を受けることになりました。力強い応援が加わった三好高校ラグビー部。今後の活躍が期待されます。

子どもたちの夢を描く

町制施行50周年記念「境川壁画制作事業」

7月23日から25日にかけて三好中学校美術部の生徒たちが、西一色の境川堤防で壁画を制作しました。これは境川堤防の老朽化した壁画を塗り直そうと町政施行50周年記念事業の一つとして行われているもの。町内8つの小学校で「未来のみよし」をテーマにした原画を募集。各校で選ばれた絵のうち北部小学校の絵を三好中学校の美術部が、残りの7つを愛知教育大学の学生が壁画にします。作業は9月末まで行われる予定です。

三好町ホームページの Topics〔まちの話題〕では
広報掲載以外の写真もご覧いただけます。
http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp/miyoshi/topics.html

自己ベストに挑む泳ぎ

小学校水泳大会

晴天に恵まれた7月19日、南部小学校のプールで毎年恒例の小学校水泳大会が行われました。町内各小学校の4、5、6年生の代表が参加して行われるこの大会も今年で35回目。開会式では選手を代表して、黒笹小学校の神谷航君と速水優美さんが元気良く選手宣誓。練習してきた成果を出し切ることを誓いました。みんなこの日のために練習をしてきたとあって、レースでは自己ベストを更新する児童が続出。白熱した大会となりました。

それぞれの活躍を期待

中学生・高校生全国大会出場選手激励会

平成20年度全国高等学校総合体育大会と、第10回日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会に出場する13人の選手の激励会が7月23日、役場で行われました。久野知英町長は「三好で皆さんの中から、室伏選手や吉田選手のようにオリンピック代表に選ばれる選手が出るかもしれません。夢は大きく、自分を信じて頑張ってください」とエールを送りました。その後選手たちが「メダルを目指します」など力強く抱負を語りました。

お口を開けて、あーん

ふれあいバザール

地域緑化や地産地消を進めようと7月26日、毎年恒例のふれあいバザールがさんさんの郷で開かれました。地元で取れた農作物や草花などの販売、鉢植えなどが当たるくじ引き、ふれあい動物園やミニSL機関車の試乗など、子どもから大人まで楽しめるこのイベント。およそ1、500人が訪れて買い物や楽しい企画でにぎわいました。猛暑日となったこの日は冷たいカキ氷が特に人気。ひとときの涼を求めて長い列ができていました。